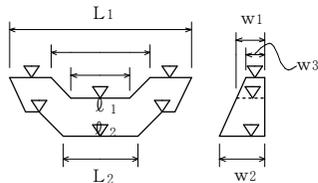
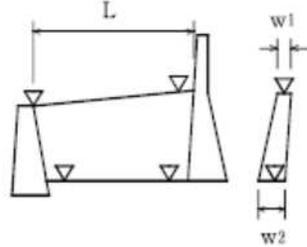


出来形管理基準及び規格値 第8編 砂 防 編

●：出来形管理図表を作成する。

△：設計図等を使用し設計寸法と比較対照出来るように整理

単位：mm

編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値	測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要	
8 砂 防 編	1 砂 防 堰 堤	3 工 場 製 作 工	4		鋼製堰堤仮設材製作工	部 材	部材長 l (m)	$\pm 3 \dots\dots$ $l \leq 10$ $\pm 4 \dots\dots$ $l > 10$	図面の寸法表示箇所にて測定。		8-1-3-4
8 砂 防 編	1 砂 防 堰 堤	8 コ ン ク リ ー ト 堰 堤 工	4		コンクリート堰堤本体工	基 準 高 ∇	● $\Delta \pm 30$	図面の表示箇所にて測定。		8-1-8-4	
						天端部 堰 幅 w_1, w_3 w_2	● $\Delta - 30$				
						水通しの幅 l_1, l_2	● $\Delta \pm 50$				
						堤 長 L_1, L_2	● $\Delta - 100$				
8 砂 防 編	1 砂 防 堰 堤	8 コ ン ク リ ー ト 堰 堤 工	6		コンクリート側壁工	基 準 高 ∇	● $\Delta \pm 30$	1. 図面の寸法表示箇所にて測定。 2. 上記以外の測定箇所の標準は、天端幅・天端高で各測点及びジョイント毎に測定。 3. 長さは、天端中心線の水平延長、又は、測点に直角な水平延長を測定。		8-1-8-6	
						幅 w_1, w_2	$\Delta - 30$				
						長 さ L	$\Delta - 100$				

出来形管理基準及び規格値 第8編 砂防編

●：出来形管理図表を作成する。

△：設計図等を使用し設計寸法と比較対照出来るように整理

単位：mm

編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値	測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要	
8 砂防編	1 砂防堰堤	8 コンクリート堰堤工	8		水叩工	基準高 ▽	●△±30	基準高、幅、延長は図面に表示してある箇所にて測定。 厚さは目地及びその中間点で測定。		8-1-8-8	
						幅 w	△-100				
						厚 さ t	△-30				
						延 長 L	△-100				
8 砂防編	1 砂防堰堤	9 鋼製堰堤工	5	1	鋼製堰堤本體工 (不透過型)	水 通 し 部	堤 高 ▽	●△±50	1. 図面の表示箇所にて測定。 2. ダブルウォール構造の場合は、堤高、幅、袖高は+の規格値は適用しない。		8-1-9-5
							長 さ l ₁ , l ₂	△±100			
							幅 w ₁ , w ₃	△±50			
							下流側倒れ △	△±0.02H ₁			
						袖 部	袖 高 ▽	●△±50			
							幅 w ₂	△±50			
							下流側倒れ △	△±0.02H ₂			

出来形管理基準及び規格値 第8編 砂防編

●：出来形管理図表を作成する。

△：設計図等を使用し設計寸法と比較対照出来るように整理

単位：mm

編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値	測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
8	1	9	5	2	鋼製堰堤本體工 (透過型)	堤長L	△±50	図面の寸法表示箇所にて測定。		8-1-9-5
						堤長ℓ	△±10			
						堤幅W	△±30			
						堤幅w	△±10			
						高さH	△±10			
						高さh	△±10			

出来形管理基準及び規格値 第8編 砂防編

●：出来形管理図表を作成する。

△：設計図等を使用し設計寸法と比較対照出来るように整理

単位：mm

編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値	測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
8	1	9	5	2	鋼製堰堤本體工 (透過型)					8-1-9-5

出来形管理基準及び規格値 第8編 砂防編

●：出来形管理図表を作成する。

△：設計図等を使用し設計寸法と比較対照出来るように整理

単位：mm

編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値	測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要	
8 砂防編	1 砂防堰堤	9 鉄製堰堤工	6		鋼製側壁工	堤 高 ∇	$\triangle \pm 50$	1. 図面に表示してある箇所にて測定。 2. ダブルウォール構造の場合は、堤高、幅、袖高は+の規格値は適用しない。		8-1-9-6	
						長 さ L	$\triangle \pm 100$				
						幅 w_1, w_2	● ± 50				
						下流側倒れ \triangle	$\triangle \pm 0.02H$				
						高さ h	$h < 3m$				$\triangle - 50$
							$h \geq 3m$				$\triangle - 100$
8 砂防編	2 流路	5 床固め工	8		魚道工	基 準 高 ∇	± 30	施工延長 40m（測点間隔 25mの場合は 50m）につき 1ヶ所、延長 40m（又は 50m）以下のものは 1 施工箇所につき 2ヶ所。		8-2-5-8	
						幅 w	-30				
						高さ h_1, h_2	-30				
						厚 さ t_1, t_2	-20				
						延 長 L	-200				
8 砂防編	3 斜面对策	6 山腹水路工	4		山腹明暗渠工	基 準 高 ∇	● ± 30	施工延長 40m（測点間隔 25mの場合は 50m）につき 1ヶ所、延長 40m（又は 50m）以下のものは 1 施工箇所につき 2ヶ所。		8-3-6-4	
						厚 さ t_1, t_2	$\triangle - 20$				
						幅 w	$\triangle - 30$				
						幅 w_1, w_2	$\triangle - 50$				
						高さ h_1, h_2	$\triangle - 30$				
						深 さ h_3	$\triangle - 30$				
						延 長 L	$\triangle - 200$				

出来形管理基準及び規格値 第8編 砂 防 編

●：出来形管理図表を作成する。

△：設計図等を使用し設計寸法と比較対照出来るように整理

単位：mm

編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値	測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
8 砂 防 編	3 斜 面 対 策	7 地 下 水 排 除 工	4		集排水ボーリング工	削 孔 深 さ l	●設計値以上	全数	<p>$d = \sqrt{x^2 + y^2}$</p> <p>$\theta 1$: 方位 $\theta 2$: 鉛直方向</p>	8-3-7-4 せん孔方向 $\theta 1$ (方位)の直接測定が困難な場合は、監督職員と協議の上、現場でのせん孔方向の設定時の管理によってもよい。
						配 置 誤 差 d	●100			
						せん孔方向 $\theta 1$ (方位)	$\Delta \pm 2.5$ 度			
						せん孔方向 $\theta 2$ (鉛直方向)	$\Delta \pm 2.5$ 度			
8 砂 防 編	3 斜 面 対 策	7 地 下 水 排 除 工	5		集水井工	基 準 高 ∇	● ± 50	全数測定。 偏心量は、杭頭と底面の差を測定。	<p>$d = \sqrt{x^2 + y^2}$</p>	8-3-7-5
						偏 心 量 d	●150			
						長 さ L	●-100			
						巻 立 て 幅 w	$\Delta - 50$			
						巻 立 て 厚 さ t	$\Delta - 30$			
8 砂 防 編	3 斜 面 対 策	9 抑 止 杭 工	6		合成杭工	基 準 高 ∇	● ± 50	全数測定。		8-3-9-6
						偏 心 量 d	● $D/4$ 以内 かつ 100 以内			